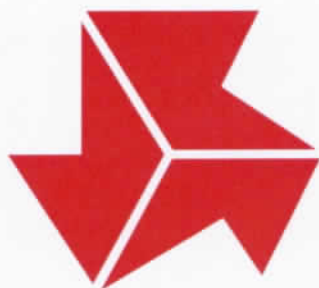


平成30年度

全国高等学校定時制通信制体育大会


第49回柔道大会

開催要項



期日 平成30年8月5日(日)

主催 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会
(公財)全国高等学校体育連盟 (公財)全日本柔道連盟
東京都教育委員会

後援 厚生労働省 スポーツ庁 (公財)日本体育協会  (公財)講道館
(公財)日本武道館 日刊スポーツ新聞社 (公財)東京都体育協会
(公財)石澤奨学会 全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会

主管 (公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部柔道専門部
東京都高等学校体育連盟 (公財)東京都柔道連盟

KEIRIN



競輪補助事業 <http://ringring-keirin.jp>

1. 期 日 平成30年8月5日(日)午前9時より
2. 会 場 講道館 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30
電話 03(3811)7152 代表
3. 試合規定 国際柔道連盟試合審判規定並びに (公財)全国高等学校体育連盟定
時制通信制部柔道専門部申し合せ事項による。
4. 競技方法
 - (A) 団体試合(男子・女子)
 - (1) 試合時間は、3分間とし、勝敗の判定は、「一本」「技あり」「僅差」※1とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
※1「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
 - (2) 勝敗の決定方法は、次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア)で同等の場合は、「一本」(それと同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - (ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ)で同等の場合は、大会申し合わせ事項により勝敗を決する。
 - (オ) 今年度ベスト8以上の成績を収めた都道府県チームを次年度シード権の対象とする。
 - (B) 個人試合
 - (1) 出場選手は、男子は各階級1名、女子は各階級2名(開催地はそれぞれ各階級2名以内)とする。
 - (2) 男子の体重区分は、次の4階級とする。
65 kg級(65kg以下)、75 kg級(65kg超から75kg以下)、90 kg級(75kg超から90kg以下)、90kg超級(90kg超以上)。
 - (3) 女子の体重区分は、次の3階級とする。
52kg級(52kg以下)、63kg級(52kg超から63kg以下)、63kg超級(63kg超以上)。
 - (4) 選手については、団体試合と重複してもかまわない。
 - (5) 試合は、トーナメント戦とする。
 - (6) 試合時間は、3分間とする。勝敗の決定基準は「一本」「技あり」とし、双方の選手間に技による評価が無い、又は同等の場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)によって勝敗を決する。
 - (7) 今年度ベスト8以上の成績を収めた都道府県選手を次年度シード権の対象とする。
5. 参加資格
 - (1) 全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項 13の(1)から(11)の規定を満たしていること。
 - (2) 参加選手はあらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
 - (3) 以下の生徒の参加については認めない。
 - ① 聴講生
 - ② 当該校において、卒業を目的としない生徒
 - ③ 意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する生徒
 - ④ 通信制課程に所属し、高校生としての教育活動が著しく損なわれている者
 - ⑤ 別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取扱い」の承諾を得られない者
 - ⑥ 参加費の未払いな者

- ⑦ その他、各競技専門部会が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者。及び不良性行や大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた者。

(4) 以下の条件を満たすこと。

- ① 当該年度・全日本柔道連盟に登録された生徒。

(5) 以下の条件に該当する生徒は、原則として参加を認めない。但し②において特別な事情のある場合は、別途事務局で判断する。(H14 年度改訂)

- ① 当該年度に全国高等学校柔道大会及びその予選(地区大会)の出場者及び出場校。
- ② 平成29年8月7日から平成30年8月4日までに柔道の各種全国大会(高校生以上を対象とし、都道府県予選のある全国大会)に出場した生徒。
- ③ 高等学校卒業の資格を有し、在学中に全国高等学校柔道大会、全国高等学校柔道選手権大会へ出場した生徒。(H14 年度改訂)
- ④ 柔道の段位が、講道館四段以上の生徒。

(6) 選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ⑤ 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。なお、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

6. 編 成

- (1) 各都道府県は、団体試合(男子・女子)においては、1チームとし、開催地は、2チーム選出することができる。また、男子1チームは、監督1名、選手5名、補欠2名以内とし、女子1チームは監督1名、選手3名、補欠2名以内とする。ただし、女子団体戦の選手が2名の場合は、中堅、大将と後詰めにして申し込む。
- (2) 各都道府県は、個人試合において、男子の部は、監督1名、選手各階級1名、補欠各階級1名以内とする。開催地は、選手各階級2名、補欠各階級2名以内を選出する事ができる。女子の部は、監督1名、選手各階級2名、補欠は各階級2名以内とする。開催地は、選手各階級2名、補欠各階級2名以内を選出する事ができる。ただし、各部門の監督は、兼任することができる。監督は、校長の認める指導者とする。また、必要に応じ、コーチをおくことができる。
- (3) 出場選手は、必ず引率者(校長が認める当該校の職員)によって引率される。引率者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 各都道府県予選は、各都道府県に任せるものとする。

7. 表 彰

- (1) 団体試合においては、1位～3位には賞状およびメダルを、1位には優勝旗、公益財団法人全日本柔道連盟杯、文部科学大臣杯ならびに厚生労働大臣杯を授与する。
- (2) 個人試合においては、1位～3位には賞状およびメダルを授与する。
- (3) 石沢奨学会より理事長賞を授与する。
- (4) 参加者には、参加賞またはそれに代わるものを贈呈する。

8. 申込方法

(1) 大会 HP からダウンロードした申込用紙に、必要事項を記入し、各都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得て、公印のある申込書を2部提出する。

9. 申込期間 **平成30年6月29日(金)必着**で書留にて郵送のこと
必要事項を入力した大会申込書のファイルは添付ファイルとして大会事務局のメールアドレスに送る
10. 申込先 **柔道大会事務局** → **開催要項最終頁 枠内 参照**
11. 参加費 団体1チーム40,000円、個人1人(補欠分は不要)4,000円を6月29日(金)迄に振り込む。
12. 宿泊
- (1) 宿泊料金 監督、選手とも1人1泊朝食のみもしくは朝食と夕食の2食消費税込
都内ホテル 9,180円から13,960円まで → 詳細は別途案内。
(シングルもしくはツイン、朝食のみもしくは夕食と朝食付のプラン)
- 夕食の設定とシングルかつツインの設定で料金に差がつく。
 - 昼食代は別途864円(消費税込)
- (2) 申し込み方法
所定の用紙(宿泊申込書)に必要事項を記入し、各都道府県の責任者を通じて、**平成30年6月29日(金)**までに大会事務局まで申込むこと。

宿泊手続きは、規定通り、大会事務局を必ず通して進めることが前提です。

※詳細は、別紙宿泊要項を参照。

※参考

全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項第25条及び平成29年度全国高等学校定時制通信制体育大会参加者要項(宿泊の手引き、1 宿舎の選定及び配宿)

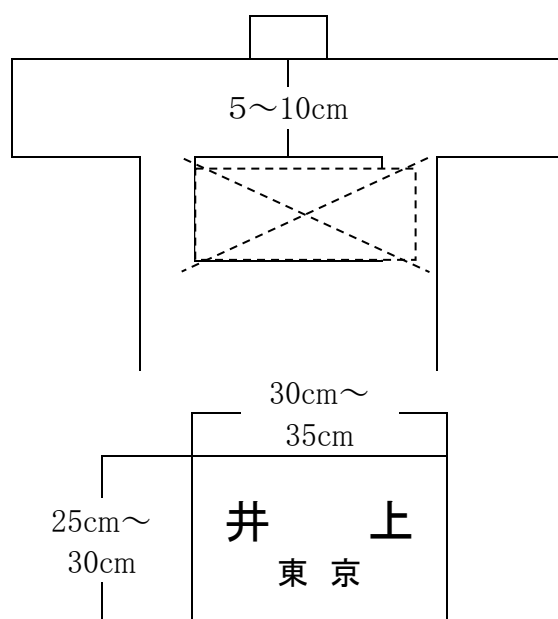
13. 振込先 参加費は、郵便局の口座に送金すること。
口座番号 00190-2-30205
(振込用紙の裏に内訳を記入すること)
口座名 全国高等学校定時制通信制柔道大会事務局
※振込用紙のコピーを大会申込書に同封すること。
14. その他
- (1) 審判会議は、大会当日 8月5日(日)、午前8時30分より講道館にて行う。
 - (2) 監督会議は、大会前日 8月4日(土)、午後4時より講道館にて行う。
 - (3) 前日練習は、講道館内道場とする。8月4日(土)午後12時30分より行う。
(練習会場は当日掲示する)
 - (4) プログラム編成・組合せは、主催者側で行う。
 - (5) 選手の試合による直接の事故については、応急処置を施し、その費用を主催側で負担する。その後の処置については、責任を負わない。尚、選手は保険証(写し可)を持参すること。
 - (6) 申込後、参加者に変更が生じた場合は、所定の手続きを**大会5日前の7月31日迄**に経たもの限り、団体試合、個人試合ともに受け付ける。ただし、団体試合における選手の順番の変更は、認めない。また、個人試合男子における選手の階級変更は、認めない。
 - (7) 個人試合に出場する選手の計量は、**8月4日(土)午後2時30分から3時30分まで**の間に講道館内にて行う。
ただし、特別に事情がある場合のみ、当日開会式直前までに計量をおこなうことができる。その場合、必ず事前に事務局に申し出ること。計量会場は当日掲示する。
 - (8) 計量に失格した選手は、試合に出場することができない。
(2日間にわたって計量を受けることはできない。)

- (9) 計量に不正があった場合は、該当都道府県の出場を、団体試合、個人試合とも禁止する。
- (10) 柔道衣及び帯は、全柔連の認証ラベルが無い柔道衣でも可とする。但し、大きさ等の規格は国際柔道連盟が出している「柔道衣コントロールガイドンス」の基づいたものであること。
- (11) 各自でゼッケン(名字、県名入り)を縫い付けて試合をすること。(詳細は最終頁の図参照)
- (12) 出場選手は、必ず校医の診断を受けること。(承諾書には、校医の捺印は不要)
- (13) 出場選手は必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は、選手の行動に対して責任を負うこととする。
- (14) 全柔連の定める公認指導者資格制度は本大会には適用しない。

※追加 ゼッケン詳細

- ① 布地は白地(晒(さらし) 太綾(ふとあや))
- ② サイズは横30～35cm 縦25～30cm
- ③ 名字(姓)は上側 2/3 県名は 下側 1/3
- ④ 文字は、男子黒色・女子赤色(太文字)横書きとする
- ⑤ 縫い付けの場所は後ろ襟から5～10cm下
- ⑥ 対角線にも強い糸で縫いつけする

例



第49回全国高等学校定時制通信制柔道大会 事務局

東京都立青梅総合高等学校 定時制内

〒198-0041 東京都青梅市勝沼1丁目60番1号

青梅総合高校電話 0428-22-7604 青梅総合高校 FAX 0428-22-7624

E-mail tjudojp@gmail.com